

2016 年度 かっぱかっぷ

大会要綱

1. 公認大会

JHF、JSFF の公認大会とする。

2. 対象

日本学生フライヤー連盟の所属とする、また学生リーグ対象大会である。

3. 参加資格

JHF フライヤー会員登録証が有効な者で、JHF HG・B 級以上所有者。

日本学生フライヤー連盟に加盟している学生。

心身共に健康な者。

4. 参加機体

F.A.I.クラス 1 に限る。使用機体は原産国の運用限界が明記された物とする。

エントリーNo.をセールにテープで張り、明瞭であることをスタッフが確認する。

選手の所持する技能証に応じて、メーカーが推奨するレベルの機体を使用する事。

5. 参加機体の変更

原則として、同機種・同サイズとする。破損により修理不能の機体変更は、競技委員長の判断により他機種・他サイズのものに変更することができる。

変更の際は、書面にて競技委員長に機体変更申請を提出し、機体検査を受けること。

6. 装備

ヘルメット（ハンググライダーに適した、強度のある物）、パラシュート（2016 年 9 月 14 日以降にリパックされたもの）、サブライン、ロック付きカラビナを必ず装備する事。無線はスカイレジャー無線を使用する。以上を満たしていないものは競技に参加できない。

7. フライトの成立及び大会成立

フライトの成立は各クラスの競技規定に準ずる。最低 1 本のフライト成立で大会成立とする。

8. 順位の決定

大会期間中の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合、以下の者を上位とする。

- ・ Expert Class ゴールした数の多い者。
- ・ 1st Class ターンポイントの総獲得数が多い者。
- ・ 2nd Class 全ての記録のうち最もターゲットに近づけた際の距離が短い者。

9. 大会役員の権限

大会中は、大会役員の指示に従わなければならない。競技に支障を来す行為をした選手は、大会役員の判断でその日のフライトを失格或いは大会失格とする場合がある。

10. テイクオフ

テイクオフは TO0 を使用する。

11. ランディング

1st、2nd Class で使用するランディングは原則として LD1(ランディング①)とする。Expert Class に限り、LD1~LD4 の使用も認める。クラスごとに指定されているランディング以外の場所へのランディングをアウトランディングとする。

12. フライト失格

飛行禁止空域フライト・空中接触・帰着申告時間内未提出・フライトルール違反の他、危険な飛行と判断される場合そのフライトを失格とする場合がある。

特に電線については周囲、及び上空において 200m以上の距離を確保すること。

13. 大会失格

危険行為・不正行為・飛行禁止空域内ランディング・大会規定に違反した選手は、大会役員会に諮り大会失格とする場合がある。

14. 雲中飛行

雲中飛行は禁止とされ、競技委員長、ほかの選手により監視される。雲中飛行を行った選手は、競技委員長の判断により、そのタスクのスコアを減点する。

15. 事故及び損害賠償

大会期間中、万一事故・傷害や損害が生じた場合、大会規定・エリアルールに則り本人とその担当教員の責任に於いて速やかに処置し、本部に報告すること。又、主催者や大会関係者に対して責任追及、損害賠償などの請求を決して行わない事。

16. 抗議

抗議申し立ては、トラブル発生後一時間以内に文書で供託金 20,000 円を添えて競技委員長に提出すること。

17. 公式掲示板

公式掲示板を大会本部及びテイクオフに設置し、成績及び当日のフライト内容などを発表するので、選手は公式掲示板を確認すること。

18. アウトランディング

アウトランディングをした者は、必ずアウトランディング申告を行い、被害に応じた額を支払うこと。

19. ハラスメント規定

日本学生フライヤー連盟ハラスメント規定が適応される。大会期間中のハラスメントの対応判断は大会実行委員長及びその命を受けたものが行う。ハラスメント行為を行った選手は即時大会失格とする。